

## 令和3年度野生鳥獣による農作物被害の状況について

## 1 被害額

令和3年度 91,055千円（前年度から31千円の増）  
（令和2年度 91,024千円）

## 2 獣種別被害額の状況

イノシシ、ニホンジカ、ニホンザルの被害が減少、鳥類の被害が増加

- イノシシ：34,057千円（前年度から57千円の減 ▲0.2%）  
・継続的な防除・捕獲対策の取組みにより、水稻、ミカンの被害が減少
- ニホンジカ：30,149千円（前年度から1,536千円の減 ▲4.8%）  
・継続的な防除・捕獲対策の取組みにより、果樹の被害が減少
- ニホンザル：17,873千円（前年度から1,307千円の減 ▲6.8%）  
・集落ぐるみの加害群れの大型捕獲檻による効果的な捕獲や防除により野菜、イモ類の被害が減少
- 鳥類：6,954千円（前年度から2,622千円の増 +60.5%）  
・防除対策実施地域の周辺において、カモ類による野菜の被害が拡大

## 3 今後の対策

## &lt;イノシシ&gt;

- ・農作物被害が多い山裾付近での防除・捕獲対策の強化
- ・眉山など市街地周辺での安全かつ効果的なIoT捕獲技術の活用

## &lt;ニホンジカ&gt;

- ・果樹被害が多い中山間地域での防除・捕獲対策の一層の強化
- ・剣山山系や県境付近など、発生源となる高密度地域での個体数削減を推進

## &lt;ニホンザル&gt;

- ・GPS首輪による群れの加害レベルや行動圏等の把握を推進
- ・加害レベルに応じて、集落一体となった群れ捕獲や継続的な被害防除を促進

## &lt;鳥類&gt;

- ・「農業用不織布」や「テグス」を用いたカモ被害対策の普及

【参考】令和3年度 3獣種の捕獲数（速報値）

合計	25,547頭	（前年比 +5.9%）	…過去最多
内訳：イノシシ	8,855頭	（前年比 +19.2%）	…過去最多
ニホンジカ	15,128頭	（前年比 ▲3.0%）	
ニホンザル	1,564頭	（前年比 +41.4%）	